

渋滞が発生するしくみ

「渋滞形成の数理と実証実験」



第23回

愛知大学 教養セミナー

- ◎日 時 7月17日(木) 13:30~15:00
- ◎講 師 杉山雄規氏
名古屋大学 大学院情報科学研究科複雑系科学専攻 教授
- ◎場 所 愛知大学 名古屋校舎 講義棟 L707 教室
名古屋市中村区平池町四丁目 60 番 6
- ◎受講料 無料(要申込)
- ◎お申込 愛知大学 名古屋一般教育研究室(担当 上山^{うえやま})
E-mail: N-ippa@ml.aichi-u.ac.jp FAX: 052-564-6251
(表題に「第23回教養セミナー」とご記入ください)
- ◎お問合せ TEL: 052-564-6151

なぜ渋滞は発生するのか? この素朴で基本的な疑問について、物理学の現象としてその本質が説明されたのは、1990年代半ば、まだ最近のことです。

車の運転において、自分の前方を走る車の動きは常に注意しますが、後方は時々しか見ません。このような非対称性は物質科学の世界ではあまり例を見ませんが、人間や生物が関与する世界では普通に存在し、広い意味での「渋滞」と同じ様な現象が見られます。

このような内容を、コンピュータシミュレーションや実験を交えてわかりやすくお話したいと思います。



愛知大学
AICHI UNIVERSITY